

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同志の関係を築いている。	本人の今までの生活や意向を尊重した支援をする。	本人が「大切にしてきたこと(趣味や嗜好)」「生き方」「価値観」などを活かした支援をしていく。	3～6ヶ月
2	19	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	職員のためのケアでなく、ご家族様にも共に支えている一員であることをお願いしている。	ご家族参加型の外出レクやホームでの行事にも積極的に参加して頂く。	6～12ヶ月
3	38	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	おおまかな1日の流れの中で、個々のペースを乱すことなく生活できる支援をしている。	ADLの維持・向上を目指して、生活リハビリやラジオ体操・大人の塗り絵等、レクリエーションの充実を計る。	6～12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。